

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者の急変や事故発生に対応したマニュアルがあり、初期対応等の訓練は年一回実施しているが、不十分で、職員から不安の声も出ている。	救急救命の講習に、法人から2名参加し訓練を受けているので、看護師の協力も得て、応急手当、人工呼吸、AEDの訓練を行う。	① 利用者が転倒などでケガ、骨折した場合の応急手当の訓練を年2回(5、11月)実施②人口呼吸、AEDの訓練を年2回(4、9月)実施する。	12ヶ月
2	38	利用者に「その日をどのように過ごすか、希望にそって・・・」と問われれば、決して十分とはいえません。ゆっくりと時間が流れる中にも、1人ひとりのその人らしい暮らしを発見し、支援が必要である。	① 利用者の思いや意向の把握に努力する。 ② 「利用者本位」とはの原点を月1回の定期的な職員学習のテーマにする。	職員は利用者の担当制になっているので利用者の暮らしの把握とケアカンファレンスを通じて、利用者の希望に添い、1人ひとりのペースを大切に支援していきたい。	12ヶ月
3	3	開所4年を迎え、培った認知症介護支援のノウハウを生かして、認知症の方をかかえる家族への支援、地域貢献としてグループホーム内と法人事務所に認知症カフェを開設し、相談にあたる。	グループホーム内のカフェは認知症の方と家族に気軽に訪ねてもらい、相談活動、入居者と一緒の会話、食事等に参加してもらう。	① 地域包括支援センターと連携して在宅で生活している認知症の方、家族への支援を行う。② 法人が発行する会報で宣伝、お知らせを行い、その成果についても会報等でお知らせする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。